

松山戦争の戦死者を悼む

水戸藩国事殉難者慰霊祭

幕末維新の八日市場・松山戦争での水戸藩国事殉難者慰霊祭が10月6日、匝瑳地区中台の脱走塚で行われました。脱走塚には、140年前、この戦争での戦死者25人が埋葬されており、供養塔が建てられ折々に供養されてきました。

このたびの慰霊祭は、水戸市から水戸藩諸生派の子孫で組織する「水戸藩殉難者恩光碑保存会」の方々など50人が訪れ、中台区民とともに、140年忌慰霊法要がしめやかに営まれました。



140年目の秋を追悼

五穀豊穡を祝う

松山神社秋の大祭



頭上の神輿に無病息災のご利益を願う

松山神社で10月12日、五穀豊穡を祝い、秋の大祭が行われました。厳かな祭礼の儀式が終わると、頭上を通ってもらうと無病息災のご利益があるという神輿を待って、子どもからお年寄りまでが、鳥居の前にかがんだ姿で列を作りました。神輿が通り過ぎるとそれぞれが笑顔をのぞかせていました。その後、神輿は松山・中台地区を威勢よく練り歩きました。



プロの奏者を前にちよっと緊張

プロの演奏に大満足

小学校音楽鑑賞教室

市民ふれあいセンターで9月30日、小学校音楽鑑賞教室が開催されました。当日は、市内小学校の6年生約380人が集まり、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の皆さんによる演奏を楽しみました。

また、体験コーナーでは、3人の児童が交代で指揮台上がりしました。指揮に合わせてたまに演奏の調子がはずれ、会場に笑いが起こる場面も。内容の濃い約1時間の鑑賞教室に、児童たちは大満足だったようです。



川辺浜を練り歩く十二所神社の神輿

大海原を背に神輿をもむ

六社神社御神幸祭、十二所神社御神幸祭

野田・栄地区を代表する伝統行事「六社神社御神幸祭」「十二所神社御神幸祭」が10月12日にそれぞれ行われ、荒波を背に威勢よく神輿をもみ、五穀豊穡、豊漁、商売繁盛を祈願しました。



野手浜でお浜下りを行う六社神社の神輿



ツール・ド・ちば2008

1200人が市内を快走

房総路を3日間かけて走り抜ける首都圏最大のサイクリングイベント「ツール・ド・ちば2008」が10月11日から開催されました。

最終日(13日)の第3ステージ129キロには、全国から集まったサイクリスト1200人が参加。市内の飯岡片貝線と飯岡一宮線を秋風切ってさっそうと駆け抜けました。

スリランカの舞が檀林を訪問

市国際交流協会事業

スリランカの民族舞踊団が9月20日、飯高檀林を訪れ、同国の伝統的な舞を披露しました。一行は東京で開かれていたスリランカ国宝展のため来日した舞踊団9人で、市内にあるスリランカ寺院への訪問も兼ねて、飯高檀林への訪問が実現したものです。

華やかな衣装をまとったダンサーたちは、太鼓や鐘の独特なリズムに合わせ、神に捧げる踊りなど10曲を披露。集まった観衆から大きな拍手が送られました。



華やかな衣装と踊りで観客を魅了するスリランカ民族舞踊団

みんなで一緒に走ったよ

マザーズホーム運動会

市民ふれあいセンターで10月18日、マザーズホーム運動会が行われました。子どもたちはお父さんやお母さんと一緒に、玉入れやパン食い競争などに挑戦し、楽しい一日を過ごしました。



ゴールに向かってダッシュ!

江戸時代の祭りを今に

白山神社収穫感謝祭

白山神社で10月5日、収穫感謝祭が行われました。これは龍頭寺で江戸時代に行われていた祭事で、明治初期以来、中止になっていたものが昨年秋祭として再現されたものです。子孫繁栄を願う「嫁祝の舞」や米運び競争など、伝統の祭りの復活に地区民の活気がみなぎっていました。



伝統の箕を使った米運び競争

芥川龍之介の名作・杜子春の一場面



文化庁主催による舞台芸術体験事業

糸あやつり人形劇

共興小学校で10月7日、糸あやつり人形の児童劇公演が行われました。この人形劇は結城座によるもので、370年の歴史を持ち、国と東京都の無形文化財に指定されています。また、広く海外でも公演が行われています。

当日は、証誠寺の狸ばやしや杜子春などの4つの演目が演じられ、子どもたちは、人形の動きに目を輝かせ見入っていました。公演の途中では、6人の児童が舞台上で17本もの糸のついた人形をあやつる体験も行われました。